

「盛岡地方原木しいたけ振興大会」の開催

1 盛岡管内の原木しいたけ生産の現状

盛岡管内の「原木しいたけ」は、矢巾町を中心に、盛岡市近郊の立地を活かした周年栽培により、県内の約8割を生産しています。一方、「原木乾しいたけ」は、岩手町を中心に、冷涼な気候を活かして成長した肉厚で歯ごたえのある高品質な乾しいたけを生産しています。

しかしながら、東日本大震災による原発事故の放射性物質の影響により、全国的な原木不足の状況が続き、原木の調達困難や原木価格の高騰、風評被害の影響等により、生産者の生産意欲が減退しており、生産量が減少しています。

2 7年ぶりの振興大会を開催！

～生産者を元気づけるために～

そこで、原木しいたけの美味しさをより一層、消費者へPRするとともに、原木しいたけ生産者の生産意欲の向上を図るため、盛岡地方しいたけ生産振興協議会が主催者となり、平成23年度に開催して以来7年ぶりとなる「盛岡地方原木しいたけ振興大会」を11月24日に開催しました。

(1) 記念講演会

開催にあたり、ものづくりのプロとして、株式会社ベアレン醸造所代表取締役社長木村剛氏による講演会が行われ、起業の経緯やビールファンの拡大など「ベアレンを愛し、岩手を愛し、世代をつなぐビールに」という想いを講演いただきました。

(2) 生産者決起集会

決起集会は、盛岡管内の生産者をはじめ、来賓や関係者約70名が出席し、盛大に開催されました。主催者挨拶、来賓祝辞に続き、

今後も安全安心で美味しい原木しいたけの生産に向け、生産者及び関係者が一丸となり取り組んでいくために、出席者全員で「ガンパロー宣言」を唱和しました。



写真1 「ガンパロー宣言」の様子

(3) 関連行事

同日、本大会に先立って、JR盛岡駅でのしいたけ試食販売、だしソムリエ協会大坪律子氏による消費者向け講演会が行われました。

参加者全員への「乾しいたけ」プレゼントや大坪氏が調理した「乾しいたけスープ」の試飲を行い、参加者から好評を得ました。



写真2 試食販売



写真3 消費者向け講演会

3 おわりに

今回の取組は、地域経営推進費を活用し、もりおか原木しいたけ産地強化対策事業の一環として、実施しました。局では、今回の大会を契機に、生産者が元気づけられることを願い、引き続き、原木しいたけの生産振興を支援していきます。